

各位

会社名 函館どつく株式会社
代表者 代表取締役社長 服部 誠
問合せ先 経営管理本部長 齋藤 洋一
(TEL 0138-22-3111)

2024年3月期 決算に関するお知らせ

1. 2024年3月期 決算状況 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	25,529	22.9	2,188	279.8	2,282	205.0	3,233	336.3
2023年3月期	20,771	19.5	576	—	748	—	741	—

(2) 事業部門別売上高 (%表示は対前期増減率)

	新造船部門		修繕船部門		橋梁陸機部門他		合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	17,399	30.7	7,240	4.6	890	65.5	25,529	22.9
2023年3月期	13,311	21.3	6,923	17.0	536	9.1	20,771	19.5

2. 2024年3月期の概要

当期の業績は、売上高25,529百万円（前年同期比22.9%増）、営業利益2,188百万円（前年同期比279.8%増）、経常利益2,282百万円（前年同期205.0%増）、当期純利益3,233百万円（前年同期336.3%増）と大幅な増収増益を達成することが出来ました。

<新造船部門>

売上高は、建造工事が順調に進捗したことによる操業量の増加に加え、為替も前年同期を上回る円安の進行により前年同期比で30.7%増となりました。

損益面では、鋼材など資機材価格の高騰により材料費が大幅に上昇しましたが、全社一丸となって取り組んでいる原価削減活動の効果と円安の進行により、前年同期比で大幅な増益となりました。

<修繕船部門>

売上高は、主力の海上自衛隊艦艇に加えて海上保安庁巡視船、民間船各種（フェリー・貨物船・漁船・曳船）の修理工事にも積極的に取組んだ事により前年同期比で増収となったものの若干の減益となっております。

<橋梁陸機部門>

橋梁2橋と大型産業機械1機の大型案件受注等により、前年同期比で増収増益となっております。

以上のとおり、3部門共に前年比で増収となりました。

2025年3月期決算につきましては、インフレなどの影響で不安要素はありますが、引き続き全社を挙げた原価削減運動等を推進し、安定収益体制の構築に鋭意取り組んでまいります。

3. 2025年3月期の業績予想

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
百万円 30,600	百万円 4,100	百万円 3,900	百万円 3,900

売上計上予定の対象となる未ヘッジ外貨は1米ドル当たり145円を前提としております

以上